

世田谷区衛生検査センター 年報

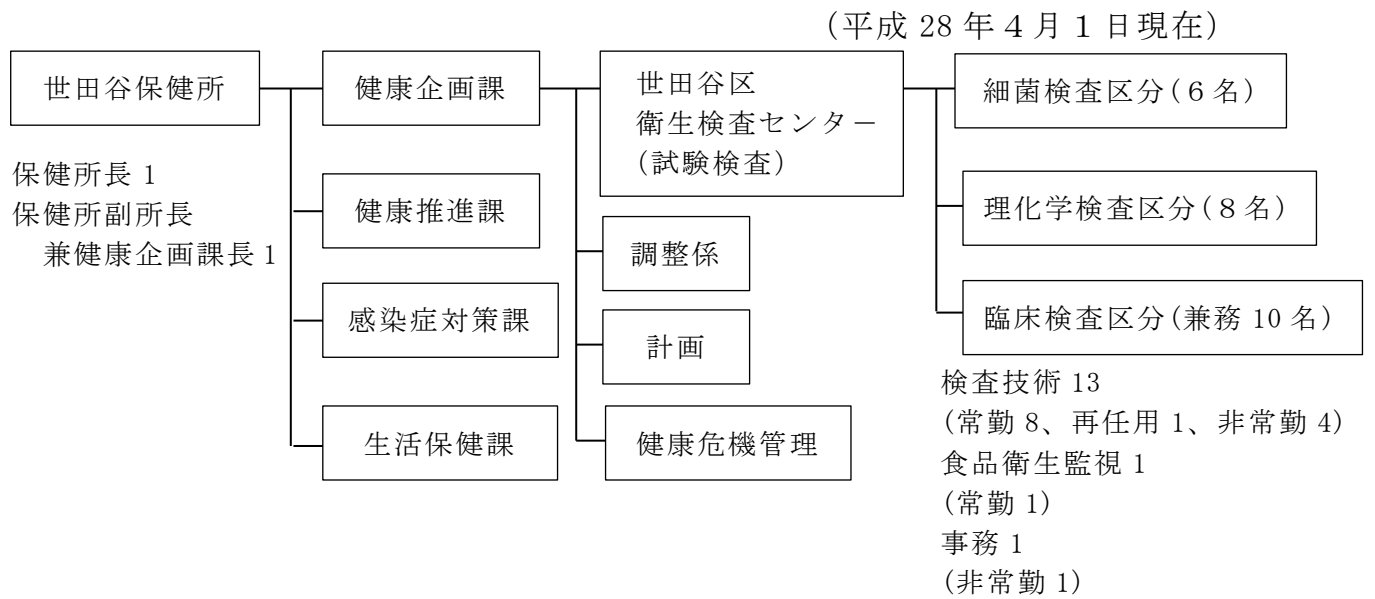
第1号

平成28年度版

1	組織	1
	(1) 構成および人員	1
2	事業内容及び実績	2
	(1) 食品衛生検査	2
	(2) 放射性物質検査	3
	(3) 環境衛生検査	3
	(4) 臨床検査	5
	(5) 家庭用品検査	5
3	相談品等検査結果	6
4	精度管理	7
	(1) 東京都・特別区衛生検査機関における精度管理調査	7
	(2) 外部精度管理調査	7
5	会議・研修・学会等・参加状況	8
	(1) 地方衛生研究所（会議・研修）	8
	(2) 学会	9
	(3) 研修および講習会	9
6	所内実施研修	10

1 組織

(1) 構成および人員



2 事業内容及び実績

世田谷区衛生検査センターでは、区民の食生活、生活環境、感染症等に関する安全確保のための検査を実施している。

保健所の関係課、および区民からの依頼を受けて下記の検査を実施した。

(1) 食品衛生検査

世田谷保健所生活保健課より依頼された、区内で製造された食品や一般に流通している食品等の細菌検査および食品添加物、残留農薬等の化学検査を実施している。また、生活保健課に区民から寄せられた相談等にもともなう検査にも対応している。平成 28 年度は食品細菌検査で 359 検体、食品化学検査で 140 検体の検査を実施した。検査項目数については表 1 に示した。

表 1 食品衛生検査項目数

検査項目		検査項目数	
食品細菌	細菌数	細菌数	343
		大腸菌群	343
		大腸菌	341
		黄色ブドウ球菌	344
		サルモネラ	285
		腸管出血性大腸菌 ^{※1}	2,040
		腸炎ビブリオ	56
		セレウス	0
		カンピロバクター	28
		真菌	2
		ウェルシュ	0
		リステリア	0
		黄色ブドウ球菌エンテロトキシン型別	6
		クロストリジア	0
		その他	0
		残留抗生物質簡易検査法	5
		成分規格 ^{※2}	細菌数
	大腸菌群		7
	大腸菌最確数		0
	サルモネラ		0
黄色ブドウ球菌	0		
	腸炎ビブリオ最確数	38	
計		3,793	
食品化学		保存料	483
		甘味料	346
		酸化防止剤	140
		着色料	650
		漂白剤	10
		殺菌料	0
		発色剤	0
		発酵調整剤	0
		品質保持剤	5
		油脂試験	0

	防かび剤	35
	特殊窒素化合物	0
	強化剤	0
	酸味料	0
	放射性物質	72
	重金属類	0
	官能試験	0
	抗菌性物質等	20
	農薬	2,095
	アレルギー物質	0
	容器包装	0
	その他	49
	計	3,905

※1 腸管出血性大腸菌 026、0103、0111、0121、0145、0157 の 6 血清型の検査を実施している。

※2 成分規格の件数は再掲。

(2) 放射性物質検査

平成 24 年度より、区内保育園、区立小中学校の給食、川場村移動教室提供食および区内流通食品の放射性物質検査を実施している。また、消費者庁より貸与を受けた機器を使用し、区民検査を実施している。検査項目はセシウム 134 および 137 で、検体数と検査項目数は表 2 に示した。基準を超えて検出されるものはなかった。

表 2 放射性物質の検査数

依頼元	検体数	検査項目数
学校・調理場	397	794
保育園	1,104	2,208
生活保健課※3	36	72
その他	32	64
食品の放射性物質区民検査	15	30
計	1,584	3,168

※3 食品化学の放射性物質検査件数を再掲。

(3) 環境衛生検査

世田谷保健所生活保健課より依頼された、プール水、公衆浴場水等の水質検査を実施している。平成 28 年度は井戸水が 50 検体、利用水※4 が 227 検体、プール水が 197 検体の検査を実施した。また、おしぼり等の検査として 3 検体を実施した。検査項目別の検体数について表 3 に示した。

表3 環境衛生検査項目数

検査項目		検体数	
井戸水	細菌	一般細菌	50
		大腸菌 (E.coli)	50
		硝酸態・亜硝酸態窒素	50
	化学	鉄	50
		塩化物イオン	50
		過マンガン酸カリウム消費量	50
		pH値	50
		臭気	50
		色度	50
		濁度	50
		外観	50
		揮発性有機化合物	980
		金属類	0
		その他	0
		計	1,582
利用水 ※4	細菌	一般細菌	8
		大腸菌群	185
		大腸菌 (E.coli)	23
		レジオネラ属菌	196
		レジオネラ PCR	14
		従属栄養細菌	0
	化学	硝酸態・亜硝酸態窒素	0
		鉄	0
		塩化物イオン	0
		過マンガン酸カリウム消費量	194
		pH値	206
		臭気	0
		色度	0
		濁度	206
		外観	0
金属類	0		
その他	0		
計	1,032		
プール水	細菌	一般細菌	196
		大腸菌	196
		レジオネラ属菌	53
		レジオネラ PCR	41
	化学	pH	196
		濁度	196
		過マンガン酸カリウム消費量	196
計	1,074		
おしぼり等 ※5	細菌	一般細菌数	3(1)
		大腸菌群	3(1)
		黄色ブドウ球菌	3(1)
		異臭	3(1)
		変色	3(1)
		異物	3(1)
計	18(6)		

※4 利用水には浴槽水、冷却塔水、循環給湯水、修景水を含む。

※5 おしぼり等とは貸しおしぼりとタオルで、()内の数はタオルの再掲を示した。

(4) 臨床検査

感染症の発生予防及びそのまん延の防止を目的とする腸内細菌やノロウイルス、ぎょう虫卵の検査、結核接触者検診の QFT 検査および性感染症予防事業に伴う HIV 抗原抗体検査、梅毒検査を実施している。表 4 に検査項目数等を示した。

表 4 臨床検査の検体数および検査項目数

検査項目		検体数	検査項目数
梅毒	STS 法定性	735	735
	TPHA 定性		735
	STS 法定量		10
	TPHA 定量		17
計		735	1,497
HIV	ELISA 法	735	735
寄生虫	寄生虫卵 ^{※6}	163	163
	虫体鑑別	0	0
計		163	163
腸内細菌 ^{※7}	健康相談	1,183	5,523
	患者関係者等	163	163
	その他 ^{※8}	0	0
計		1,346	5,686
ノロウイルス	リアルタイム PCR	31	31
結核	QFT	269	269
総計		3,116	8,381

※6 寄生虫卵はセロハンテープ、スライド、集卵法を含む。

※7 腸内細菌の健康相談の項目は、赤痢、チフス、パラチフス、その他のサルモネラ及び腸管出血性大腸菌 0157 であり、患者関係者等の項目は、さらに腸管出血性大腸菌 026、腸管出血性大腸菌 0111 を含む。

※8 腸内細菌のその他とは、ノロウイルス検査時、もしくは感染症発生時に行う検査を表す。項目は、赤痢、チフス、パラチフス、その他のサルモネラ、腸管出血性大腸菌 0157、腸管出血性大腸菌 026、腸管出血性大腸菌 0111 である。

(5) 家庭用品検査

世田谷保健所生活保健課より搬入される繊維製品や接着剤中に含有されるホルムアルデヒドの検査を行っている。検査項目数を表 5 に示した。

基準を超えて検出されるものはなかった。

表 5 家庭用品検査項目数

検査項目		検査項目数
塩化水素・硫酸 (NaOH 消費量)		0
水酸化ナトリウム・水酸化カリウム (HCl 消費量)		0
強度試験	漏水	0
	落下	0
	耐酸・耐アルカリ	0
	圧縮変形	0
ホルムアルデヒド		35
メタノール		0
計		35

3 相談品等検査結果

世田谷保健所生活保健課によせられた相談で、検査の依頼を受けたものについて下表にまとめた。

相談内容	検査対象物	検査項目	検査結果
枕もとの黒色物質を調べてほしい。	黒色物質	FT-IR	炭酸カルシウムのスペクトルと類似した。
室内の白色物質を調べてほしい。	白色物質	FT-IR 溶解試験	白色物質の表面はスクロースのスペクトルと類似した。 溶解試験において、表面は溶解したが、白色物質が残り、残った物質のスペクトルは類似するものがなかった。
冷凍食品から白色の異物が出てきた。	白色異物	FT-IR	参考品の牛骨のスペクトルと類似した。
ところてんを食べたところ、プラスチックのようなものが出てきた。	プラスチック様異物	FT-IR	参考品のところてんの容器包装とスペクトルが類似した。
パスタソースを使用し調理したパスタから、黒色異物が出てきた。	黒色異物	FT-IR	類似するスペクトルがなかった。
アイスクリームにカビが生えている。	カビ様異物	真菌培養	糸状菌の発育はなかった。

4 精度管理

(1) 東京都・特別区衛生検査機関における精度管理調査

都区保健衛生試験検査機関における検査技術の維持・向上を図ることを目的として、「精度管理調査実施要綱」(平成2年3月20日付)に基づき、精度管理調査が行われている。(事務局：東京都健康安全研究センター)

内部精度管理として参加した。

年月	検査区分	内容
28.9	水質化学	塩化物イオン、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、過マンガン酸カリウム消費量の定量試験、 (自由参加項目) 鉄、及び亜硝酸態窒素の定量試験
28.9	食品化学	加工食品中の甘味料の分析
28.10	食品細菌	細菌数の測定、黄色ブドウ球菌、及びサルモネラ属菌の検出
28.11	腸内細菌	赤痢菌、サルモネラ、腸管出血性大腸菌 (O157、O26 及び O111) の分離・同定 (自由参加項目) 腸管系病原菌

(2) 外部精度管理調査

(財)食品薬品安全センターの配布検体による食品衛生外部精度管理調査事業に参加した。

年月	検査区分	内容
28.7	理化学的検査	食品添加物検査Ⅱ (定量) 安息香酸
28.8	理化学的検査	残留農薬Ⅱ (一斉分析) チオベンカルブ、マラチオン、クロルピリホス
28.11	理化学的検査	食品添加物検査Ⅱ (定性) 着色料
28.10	微生物学的検査	黄色ブドウ球菌検査 加熱食肉製品 (加熱殺菌後包装)
28.10	微生物学的検査	サルモネラ属菌検査 食鳥卵 (殺菌液卵)

5 会議・研修・学会等・参加状況

(1) 地方衛生研究所（会議・研修）

年月日	会議・研修	開催地	参加人数
28.6.30	地方衛生研究所関東甲信静支部総会	千葉市	1
28.9.14	地域保健総合推進事業「第1回ブロック会議」	千葉市	1
28.9.29～30	地方衛生研究所関東甲信静ウイルス部会	千葉市	1
28.10.12	地域保健総合推進事業「地域専門家会議(微生物)」	千葉市	1
28.10.24	市立衛生研究所・衛生試験所連絡協議会	尼崎市	1
28.10.25	地方衛生研究所全国協議会	大阪市	1
28.11.22	地域保健総合推進事業「全国疫学情報ネットワーク構築会議」	東京都	1
28.12.8	地域保健総合推進事業「地域レファレンスセンター連絡協議会(衛生微生物)」	千葉市	1
28.12.9	地方衛生研究所関東甲信静公衆衛生情報部会	千葉市	1
28.12.9	地域保健総合推進事業「関東甲信静公衆衛生情報部会」	千葉市	1
29.1.19	地域保健総合推進事業「第2回ブロック会議」	千葉市	1
29.1.20	地域保健総合推進事業「衛生理化学分野研修会」	東京都	1
29.1.27	地方衛生研究所関東甲信静理化学部会	さいたま市	1
29.1.26～27	公衆衛生情報研究協議会	福島市	1
29.2.9～10	地方衛生研究所関東甲信静細菌部会	甲府市	1

(2) 学会

年月日	学会名	開催地	参加人数
28.5.19～20	第111回日本食品衛生学会	東京都	1
28.9.15～16	第37回日本食品微生物学会	東京都	1

(3) 研修および講習会

年月日	内容	開催地又は場所	参加人数
28.5.27	平成28年度信頼性確保部門責任者等研修会	厚生労働省講堂	1
28.6.23	平成28年度第1回食品技術講習会	都庁 都民ホール	1
28.7.14	レジオネラ属菌検査セミナー	東京都内	1
28.7.14～ 28.7.15	キャピラリ GC 入門講習会	神奈川県内	1
28.8.4～ 28.8.5	キャピラリ GC 入門講習会	神奈川県内	1
28.8.31	特定毒物研究者等講習会	東京都健康安全 研究センター	1
28.9.28～ 28.9.29	GC-MS 基本コース	東京都内	1
28.9.30	特別区職員研修所平成28年度専門研修「検査技術」	特別区職員研修所	1
28.9.30	埼玉県衛生研究所研修会「抄録及び論文の書き方から学会発表の基本」	埼玉県衛生研究所	1
28.10.12 28.12.14 29.3.8	マイクロピペットセミナー	東京都内	各日1 (計3)
28.11.25	埼玉県衛生研究所研修会「食品衛生管理の国際化の動向と今後の微生物検査の方向」	埼玉県衛生研究所	1
28.12.16	高速液体クロマトグラフメンテナンス講習会	神奈川県内	1

29.1.10～ 29.1.12	特別区職員技術研修 化学 食品（残留農薬）	東京都健康安全 研究センター	1
29.2.9	平成 28 年度厚生労働化学研究シンポ ジウムおよび日本食品衛生学会公開 講演会	東京都内	1
29.2.24	水道水質検査精度管理に関する研修 会	厚生労働省講堂	1

6 所内実施研修

年月	担当	研修内容	開催場所	出席者
28.12	細菌部門	レジオネラ属菌検査 (培養法)	世田谷区衛生 検査センター	環境衛生 監視員
29.1～3	理化学部門	保存料 (ソルビン酸定性)	世田谷区衛生 検査センター	食品衛生 監視員